

請 願 第 4 号	平成30年8月28日受理
付 託 委 員 会	文教安全常任委員会
件 名	特別支援学級の介助員に関する件
紹 介 議 員	木 下 映 実 議員 成 田 忠 志 議員 小 澤 宏 司 議員 山 口 勇 議員 堀 口 明 子 議員 菅 野 文 男 議員 高 山 敏 朗 議員 橋 本 淳 議員 奥 山 智 議員
請 願 要 旨	<p>特別支援学級には担任の先生と、介助員がいますが、介助員の勤務時間が短く、子どもたちが学校に滞在している時間すべてを勤務することができていません。そのため子どもへの対応等先生方にご負担をかけ、親としても心苦しい思いをしています。</p> <p>介助員がいないことによって、離席や普通学級との交流の減少、一部危険行為など学校内において子供の状況に危機感を持っています。他市の状況を見ると勤務形態や勤務する人員の複数体制等を工夫して子どもが学校にいる時間は勤務できる状況となっています。県としてもこのような状況を危惧しており、職員体制を厚くするため「8人に1人の教員配置」という配置基準を次期計画では見直す動きもあります。先生や介助員がしっかり配置され、子どもたちそして保護者が安心して安全な学校生活を送れるよう以下の3点を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介助員が、子どもたちが学校にいる時間帯に各クラスに最低1人はいられるようにして下さい。 2. 子どもの不安を解消するために、1日通していられる介助員がいてほしいので、介助員が働き方を選択できるようにして下さい。 3. 様々な子どもに対応してもらえるために、研修の回数を増やして下さい。